

2023.4月

銀の汗 Again

A面

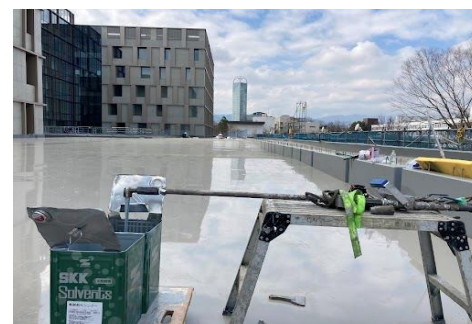
城西大学坂戸キャンパスUN施工



(有)アクト様



新設校舎



順調に吐出



外観

2023箱根駅伝総合9位の城西大学。
3月その大学の坂戸キャンパスでUNマシンの施工を行いました。
1号館を取り壊し新設された校舎、合計2,500㎡
900㎡と1,600㎡の2工区に分けて、都合4回の施工
サラセーヌKとサラセーヌAを打設しました。



箱根総合9位

UNをご採用頂いた有限会社アクト様は、何度もUNを利用頂いているリピーター様で
段取りも完璧！

朝に雨が降りましたが、拭き取りの作業後1,600㎡の施工を11:30分から始めて、15:30分には終了。
職人の高橋様には「UNマシンがあれば『おちゃのこさいさい』っすよ」と言っていただきました。
現場終了後の笑顔に、UNマシンのメリットを実感していただいていると確信しました。
またのご採用、お待ち申し上げます。

(M:OP)

旧倉庫整理・整頓・清掃



東京物流センターの右倉庫5S強化



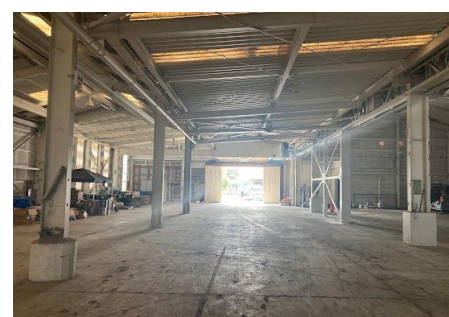
入口より

東京物流センター右側老朽化建屋内を
ゴミ等の整理を行い。
整理整頓と清掃の徹底を行いました。

UNマシンが雨天時でも
ラクラクとメンテナンスが出来る
綺麗な場所が確保されました。



ペンキ塗り



奥から入口へ



5S＝整理・整頓・清掃・清潔・躰

第6回サラセーヌハイスクール



サラセーヌハイスクール技術研修会が
3月2・3日で多摩職業能力開発センター府中校で開催されました。
コロナ禍で、3年ぶりに会場に受講者が集合しての
実技研修会。そこでAV工法とQV工法の実技を行いました。
「やっぱり、リモートより、実際に材料を触ることが出来るのがいいですね」
と、受講生にも好評な研修会となりました。
もちろん、UNマシンのオペレーター達は、サラセーヌスクール・カレッジの
卒業生です！

2023.4月

B面

銀の汗 Again

産廃新2トン車配備へ



新産廃2トン車いすゞエルフ



今回30万*走行済旧2トン車は新木場へ

30万キロ以上走行した産廃2トン車を新車にリース載せ替え最中に日野自動車問題が発生し、急遽いすゞ車へ変更。やっと納車の運びとなりました。旧車はまだ走りますが、足回りがきつくなり揺れを感じながらの走行ですがこの度、東京物流センターの旧倉庫前に配備し、UNマシンオペレーターが空ドラムの回収を行える体制を創りました。産廃・UN共に情報共有し業容拡大に向かいます。

【特販】この春イチオシのニッカーズカーゴパンツ

45
ネイビー95
ブラック

スーパーストレッチ

アルプス工業コンプライアンス
鬼瓦権造

冗談じゃないよ～
オイラ
こんなカッコイイパンツ
もっと前に履きたかったよ
令和の皆さんに
おすすめします。



この春、特販イチオシの新作カーゴパンツ。ワタリが広く作業がしやすい導電繊維混入で静電気もケア、点接触でドライタッチ。4月末日よりメーカー在庫となります。次号チラシPR予定

【特販】この夏イチオシの空調服決定！



NEW DEVICE!!

史上最高出力24Vバッテリー誕生！
日本製のバッテリーで「安心感・安全性」はそのままにより強力にグレードアップ！

最高出力24V 日本製 5マーク取得 耐燃性
耐湿防水 Bluetooth対応 USBシヤック搭載 10000mAh

デザイン対応シリーズ
The Tough 空調風神服 チタン乗換ベスト(6643)
The Tough 空調風神服 チタン乗換ベスト(6644)MAX
= 7.3℃
エアコン効果

チタンベスト

2023年夏の空調服は
業界最高出力24Vバッテリーをお勧めいたします。

特販チームとして4社の最新空調服を見て
比較検討した結果
この夏は24Vバッテリーとペアの新作6640
空調風神服チタンベストをお勧めいたします！！

新作ですので4月末日よりメーカー在庫となります。
それに合わせて、特販としてカーゴパンツと空調服
次号、拡販チラシPRさせていただきます。

先行予約問合せ先特販: 03-5860-9982

業界初24Vバッテリー

チタンベスト

UNマシン.COMサイトが起ちあがりまして
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省カ化など)

銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

小学4年生の頃描いた「絵」が選ばれて三ノ宮の大きな場所で展示されたことがあり、卒業文集で、画家になって世界を回ると妄言を吐いたことがあります。あれから約50年、テレビ「プレバト」の水彩画コーナーを見て、自分にも描けるはずだと芸術家魂に火が付き、100円ショップで、絵具・筆・パレットを買い、ヨークカルチャーセンターの体験入学をしたのが2021年春の事でした。

あまりにも、のんびりした授業を半年経験し、退会した日に、市の公民館で絵画教室を見つけ直ぐに入会しました。

その会は毎回、静物・人物・花・ときには外で写生などを3時間程で書き上げ、顧問の先生から寸評をいただくスタイルで、とにかく毎回多くの恥を描いてきました。白内障で入れ歯のかみ合わせが悪く、補聴器を入れ「はあ～」という大先輩の方が圧倒的に上手く私は小学4年生のままのゲルニカもどきの絵を描き、半年間は全く上達しませんでした。それでも上手い方の近くに、あちこち座り描き方や色使い構成を盗み見して考えました。そしてユーチューブで2次元の画材から3次元の風景が浮かび上がる画家の魔法を見て、描き方のイメージを蓄えていきました。描きすぎない事、脳はこのように見えるという感覚、陰影が一番大切という事を学びました。1年が過ぎた頃、会の責任者より、今度市展があるので是非出展するよう声をかけて頂き、初のF10号での製作に入りました。デカすぎてバランス取れないと思いましたが、晩年の北斎先生が描いた、岩松院本堂21畳間天井の「八方睨み鳳凰図」の事を思えば、ハナクソだと言いつつ聞かせ、なんとか出展し、額装でごまかし引き立てようと、奮発してブラウンの額に納め、結果入選する事ができました。その写真を知人等にメールし、今なら安い、お宝鑑定団で将来高値など、あおった結果、「画伯殿、丁度額縁が欲しかった」との暖かい返信も頂きました。いよいよ春本番！50年前の妄言が近づいてきました。